

あさひむら としよかん新聞

村立朝日村図書館発行
2023年7月1日
(第28号)

7月

夏期特別開館のお知らせ
7月
24(月)・25(火)・30(月)
8月
1(火)・7(月)・8(火)
21(月)・22(火)



「夏の土用とうなぎ」

「土用」とは、季節が変わる目安となる日を指す「雑節」のひとつで、立春、立夏、立秋、立冬の前のおよそ18日間を指しています。季節の変わり目を表す言葉なので年に4回存在しますが、特に夏バテや熱中症などの体調不良が起きやすい立秋前の「夏の土用」が注目されています。

万葉集には大伴家持がうなぎを詠んだ歌があります。

石麻呂に吾れもの申す夏瘦せに

よしといふものぞむなぎ(うなぎ)とり召せ
「夏瘦せにはうなぎを食べると良い」と勧めている歌です。7世紀～8世紀頃に編纂されたとされる万葉集ですが、昔から体調を崩しやすい夏にうなぎを食べる栄養を摂ろうという考えがあったのです。

夏の土用だけでなく、土用が近づいたら、体調管理を習慣化するなどで、季節の変わり目特有の体の不調を改善できるかも知れません。

今年の夏の土用の日は

7月30日(日)です。



「大好きな本を一番に！」

朝日村図書館では、絵本・児童図書の中からみんなに愛されている「シリーズ本」をピックアップし一番好きな本を投票で決定する「ペットボトルキャップで投票☆みんなの大好きな本決定戦！」を行います。

シリーズ本の中でも、過去十年で貸し出し回数が多いものを15種類選びました。その中からみなさんの投票で朝日村図書館の一番を決めたいと思います。

投票の方法はとても簡単です。図書館に設置してある投票箱にペットボトルのキャップを入れるだけ。お一人につき何回でも投票していただけます。

10個以上投票してくださった方は、福引きを回すことができます。当たりが出たらプレゼントと交換します。

多くの方の参加を、お待ちしております。

【お願い】

ペットボトルのキャップはきれいに洗い、乾かしたものをお持ちください。



投票箱



「図書館で借りた本が破けていた！」
～本はとってもデリケート②～

図書館で借りた本が破けていた！
という経験はありませんか？利用者さんの中には工作用のテープで貼って修復して下さる方もいらっしゃいますが、できれば直さずそのままの状態でお持ちいただきたいのです。
下の写真をご覧ください。



専用テープで修復



工作用テープで修復

専用のテープで修復したものは、劣化しにくく黄ばみも出ませんが、そうでないものは明らかに劣化しているのがわかると思います。本にも色が残ってしまい元に戻すことはできません。
本を長く多くの人に読んでもらうために、自分では修復せず「本が破けていましたよ」と、職員に教えていただければ幸いです。
図書館でも破損については気を付けてはいますが、見逃してしまうこともありますので、ご協力よろしくお願いたします。

図書館の思い出 堀 那月

朝日村図書館に最も多く通ったのは、中学生の時です。長期休みの時は勿論、週末にもよく通っていました。図書館は空調が効いていて、静かなので、勉強するのに最適でした。私にとっては少し遠い場所でしたが、落ち着く場所であって、集中して勉強できました。と、書いてみました。が、実際のところは

途中で休憩と称して読み始めた本が止まらずに次々と読み進めてしまっているなんてことがよくありました。たまに友達を誘って一緒に図書館に行き、勉強会もしました。結局はお喋りに夢中になってしまつことも多かったのです。一れからも様々な目的の利用者が訪れると良いなと思います。

みんなの大好きな本決定戦！

こちらのシリーズ本は過去10年で貸し出し回数が多かったものです。どの本が1位になるのかな？



「一万年間の縄文時代 どのような生活？」
一万年間、戦争もなく、環境変化の大きい農耕を選択することもなかった縄文時代。一万年という月日が生んだ文化は現代では想像できないほど濃密で、精神的豊かさに満ちていた。
縄文人がなかなか稲作を始めた理由って…？



「縄文人がなかなか稲作を始めない件～縄文人の世界観入門～」
著者：笛木あみ
出版：かもがわ出版